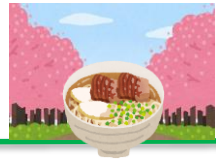




(本部町) IoTを活用した水道検針の自動化



R1.5.15 現在

事業者	沖縄通信ネットワーク株式会社
事業概要	水納島(本部町)にIoT対応の検量器を設置し、LPWAにより自動的に検針データ取得する。 実験によりIoTでの水道検針結果の正確さは検針手段、請求根拠として信頼できることが判明。

【課題】

- 水道検針者の高齢化
⇒労働者の減少問題を解決したい
- 都度検針、天気に左右される
⇒遠隔地の検針作業を効率化したい

↓屋上に設置したSigfoxアンテナ



↓デバイスを
設置する様子



AFTER :
自動検針/データ送信



天候の
影響なし
台風でもOK

【今後の展開】

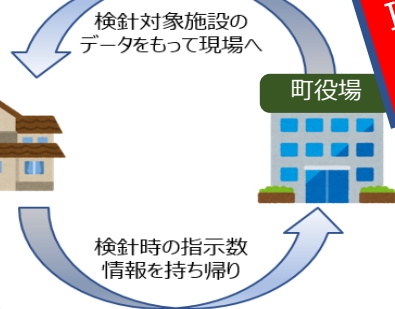
- 漏水の遠隔監視など
インフラ管理に活用
- 一人暮らしの高齢者
見守りとして応用
- 沖縄県のIoT普及に
貢献いたします

BEFORE :
現場で検針作業

高齢化社会！

体力的に
大きな負担！

天候に
左右される！



IoT導入
により

水道検針自動化の仕組み



【伝送方法】

本部町にSigfoxの局を建て、
水納島の検針メーターから
直接LPWAでの指針値を伝送

- ★「漏水」等の状態監視が可能
- ★サブスクリプションにより、
月額料金：数百円で、端末・通信・
プラットフォームが利用可能

←実証用の水道メーター
(1～24回/日のデータ
取得が可能)

